

第2回 八丈島デジタル活用協議会

令和3年6月29日（火）17:00-19:00

次第

- 1 第1回議事概要の承認
- 2 実証事業案の意見交換
- 3 委員より新規提案の説明・意見交換
- 4 第3回協議会開催予定日・そこに向けた依頼事項

1 第1回議事概要の承認 (別添参照)

2 実証事業案の意見交換

実証事業案①

事業名	デリバリーサービス（買い物代行含む）の導入
事業概要	<ul style="list-style-type: none">・既存デリバリー業者のシステムを活用し、八丈島向けにカスタマイズ・住民・観光客(ホテル、旅館、民宿)へのデリバリー、高齢者向けの買物代行サービスを実施・島内飲食店、郵便、運送会社、若者等、島内でデリバリーに協力してくれる人材を集め、説明会を実施した上で事業を実施
関係主体	デリバリー関連企業、島内飲食・小売事業者、住民（デリバリーの担い手として）
実施方法	<ul style="list-style-type: none">・デリバリー業者と契約し、システムのカスタマイズ、島内関係者へのレクチャー・必要な端末貸与等を委託・実証期間中は、利用手数料等を0円（又は値下げ）
効果	<ul style="list-style-type: none">・コロナ対策に寄与（飲食店のデリバリー支援、飲食時感染リスク減）・島内の約4割を占める高齢者の利便性向上
課題	<ul style="list-style-type: none">・デリバリーのための島内人材の確保・実証後の事業の担い手確保（NPO等立ち上げ、システムや人材管理を担う。）・島内飲食店等の理解・需要・システムの利用・カスタマイズに係るコスト・飲食だけに限らず、買い物代行や荷物の運搬等も含む総合的なサービスの提供・キャッシュレス決済の普及
実証に当たって	<ul style="list-style-type: none">・まずはデリバリー関連企業に話を伺い、八丈島での実施に当たり何が課題かを早期に明確化
成果指標	利用件数

実証事業案②

事業名	カーシェアリング・サービスの導入
事業概要	<ul style="list-style-type: none">・ オフシーズンにおける車両の有効活用のため、島民向けのサービスとして実施・ カーシェア用の駐車場を島内で用意し、WEB予約・定額決済にて利用可能に。・ 島内のレンタカー会社の車を活用（将来的には個人車両もシェアできると良い）
関係主体	カーシェア事業者、島内レンタカー事業者
実施方法	カーシェアのノウハウがある事業者と契約し、島内レンタカー会社へのレクチャーを委託
効果	<ul style="list-style-type: none">・ 車を持たない若者や移住者等の利便性向上・ 車移動が主である島内でカーシェアが進むことによる各家庭の経費削減
課題	<ul style="list-style-type: none">・ 他業界の理解、民業圧迫にならない進め方・ システム構築や駐車場の開拓、専用の機器設置等、投資コストが大きくなる可能性があり、持続可能な事業とできるかをコストを勘案しつつ検討する必要・ オフシーズンだけでなく、オンシーズンにおける利益の最大化にも使える可能性がないか確認
実証に当たって	<ul style="list-style-type: none">・ スキーム次第でコストも大きく膨らむ可能性があり、いろいろな形態が考えられる。八丈島に適した形を慎重に検討する必要がある。
成果指標	利用件数

実証事業案③

事業名	デジタルスクールの開校
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラミング講座を主軸に3か月の即戦力コースをオンラインで開校 ・島で入学式・終業式（+αでプログラミングを活用した島の社会課題解決を担う授業）を実施 ・（旧）末吉小学校の施設を上記イベントで活用 ・島外の企業で、一定期間住所を島に置いたままで働くことが可能な企業の求人を、島のお仕事掲示板（求人）に掲載する。また、スクールからも仕事を斡旋 ・都の定住促進サポート補助金も併せて案内し移住を促進
関係主体	ICT関連企業、八丈町（お仕事掲示板）
実施方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT関連企業と契約し、授業の用意・広報等を委託 ・実証期間中は試行ということで割安の授業料を設定
効果	関係人口増加、移住定住促進、雇用創造
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ニーズの把握（特に実証後、価格が通常価格に戻った場合のニーズ） ・移住・定住に向けた実効性の担保 ・実証期間中の割安授業料の設定方法（受講者1人当たりが受ける利益が過大となる可能性） ・社会的に障害のある方の採用が進められているので、そうした方も学べるプログラムがあるといい。
実証に当たって	<ul style="list-style-type: none"> ・需要も高く社会的なニーズにも合っている。授業プログラムを提供してくれるICT業者等の話しを聞き、全体のスキームや授業料等がいくらになるか詳細部分を詰めていく必要あり。
成果指標	受講者数、就職者数

実証事業案④

事業名	八丈町多目的ホール「おじゃれ」でのリモートコンサート開催
事業概要	<ul style="list-style-type: none">・八丈町が管理する多目的ホール「おじゃれ」にて、遠隔地のコンサート会場等のミュージシャンと同時演奏・ネット配信できるよう施設整備・コロナウィルス対策下でもコンサートを開催可能なホールとしてプロモーションを実施
関係主体	ICT・通信関連事業者、八丈町（ホール管理者）、住民（演奏者等）
実施方法	ICT・通信関連事業者と契約し、遠隔コンサート実施に必要な施設整備及びコンサートの企画を実施
効果	<ul style="list-style-type: none">・コロナウィルス対策下でのエンターテインメントの提供・八丈太鼓等、島の文化を発信することによる観光促進・施設整備により、e-スポーツ等の新たな企画の幅が拡大・ホールの稼働率向上
課題	<ul style="list-style-type: none">・費用対効果・実施可能な通信環境の確保・アフターコロナのニーズの把握、発掘
実証に当たって	<ul style="list-style-type: none">・施設整備に当たり、利用可能なコンテンツと現状の通信環境を確認し、早期の整備が可能かを判断する必要あり
成果指標	利用件数、イベントの視聴者数

4 新規提案の説明・意見交換 (資料は非公開)

5 第3回協議会開催予定日

令和3年7月下旬（別途日程調整）

17:00-19:00